

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「仁田川を守ろう」 報告書

助成番号：2020 - 7210 - 005

長崎県対馬市立仁田小学校

校長 氏名 荒木 建

2020 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2020-7210-005	仁田川を守ろう			長崎県対馬市立仁田小学校		
校長名	荒木 建	担当教諭名		畑島 英史		
過去の助成実績	なし あり [助成番号： 助成事業名：]					
キーワード	「稲作り」、「畑作り」、「生き物」					
対象児童生徒	小学生（1年4名，2年6名，3年3名，4年8名，5年8名，6年10名）					
対象河川名	仁田川	活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
テーマ	仁田川を守ろう					
ねらい	仁田川に関心をもち，仁田川の水を使う稲作や畑作，仁田川に生息する生き物と関係づけ，仁田川を守ろうとすることができる。					
評価の観点	自ら課題を見付け追究する力，多様な他者と協働しようとする力，対話する力					
活動時期	5月～3月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習（生活科）	各教科学習（ ）	学校行事	その他（ ）	合計
上記の活動時間数	90時間	20時間	時間	時間	時間	110時間
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> 仁田地区資源保全協議会の方々に，稲作り，畑作り，生き物調査に協力していただいた。 長崎大学 井手弘人准教授，九州大学 清野聡子准教授，生物多様性アカデミー 亀山豊氏に，プログラム開発を支援していただいた。 					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	第3・4学年がポスターを作成し，対馬市内に掲示した。		
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> 川での体験学習時に，事前に天気予報の確認をしていなかった。 						
活動の成果と今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習を系統的に実践することにより，すべてが仁田川の水と関連することを理解することができた。 多様な地域の方々と協働的に学習する機会が増え，児童の探究学習を充実させることができた。 課題としては，河川教育を実践している同県内の小学校と連携を図り，活動の紹介など発表会を遠隔授業として行うことによって，さらに児童が新たな視点に気付き，活動の幅が広がると考える。 						
活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）						
データベースに登録する活動分野	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
	学校部門	教育活動	体験活動 系 地学調査 系	川遊び 水の循環	6～7 月 5～3 月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7210-005	仁田川を守ろう	長崎県対馬市立仁田小学校 荒木 建



フィールド：仁田川水系飼所川檜滝地区

日付：令和2年6月9日

コメント：第1・2学年生活科「生き物探し」で仁田川の生き物を探す。網で捕ったり、釣り竿と餌を準備して釣ったりすることができた。



フィールド：仁田川水系飼所川檜滝地区

日付：令和2年6月9日

コメント：児童は、ハゼやカニ、エビなどをとった。専門家に同定をお願いしたところ、ゴクラクハゼ、シロハゼ、チチブ、モクズガニ、ゲンハイガニ、ヌマエビ、ウグイであることがわかった。その後、生活科の学習として、教室で飼育し、観察することとなった。



フィールド：仁田川水系飼所川檜滝地区

日付：令和2年7月17日

コメント：第1・2学年生活科「生き物探し」で、再度、仁田川水系飼所川へ向かった。今回は、「魚を釣ってみたい。」という児童の願いをもとに学習を組み立てた。竹竿に、フロロカーボン製の釣り糸と小さい釣り針を付け、餌は児童が持ってきたオキアミを使った。ウグイやチチブ、ゴクラクハゼを釣ることができた。



フィールド：仁田川水系飼所川飼所地区

日付：令和2年8月8日

コメント：仁田地区資源保全協議会の方々の協力で、アユをとってもらった。7月17日のフィールドワークで、アユらしき姿を児童が観察したからである。アユは、清流であることを示す指標生物であることから、仁田川が清流であると考えを深めることができた。



フィールド：飼所地区稲作り実践農地

日付：令和2年7月2日

コメント：第5・6学年総合的学習の時間「稲作り」で、仁田地区資源保全協議会、農協の方々に指導を受けながら、田植えを行った。田植えの作業の後は、仁田川水系飼所川に行き、汚れを落とした。また、田んぼの水は、仁田川の水であること、川にいるツシマアカガエルやニホンアマガエルが田んぼにもいると改めて気付くことができた。



フィールド：飼所地区稲作り実践農地

日付：令和2年10月16日

コメント：第5・6学年総合的学習の時間「稲作り」の稲刈り作業。この後、12月には、全校での餅つき体験とできたての餅を使って地域の雑煮づくりを行った。お世話になった地域の方々とともに、収穫の喜びを味わうことができた。



フィールド：檜滝地区畑作り実践農地

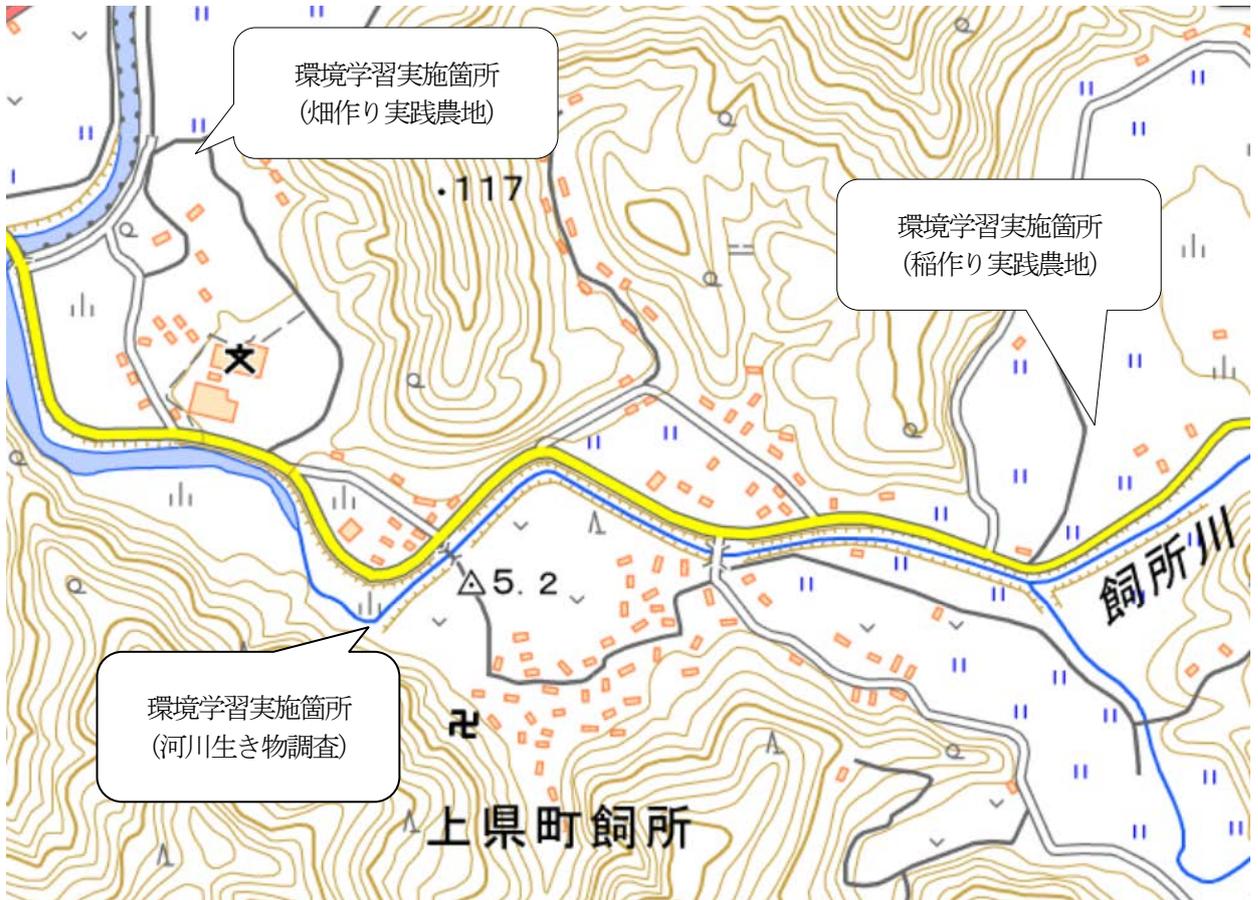
日付：令和2年11月18日

コメント：第1・2学年生活科「野菜作り」、第3・4学年総合的学習の時間「畑作り」の学習で、サツマイモの収穫を行った。地域の方が、そのままサツマイモを焼く「黒焼き」を児童らにごちそうしてくださった。また、大量のサツマイモが収穫できたので、第1・2学年は「だんご餅（芋餅）づくり」、第3・4学年は「切り干し、かんころ作り」へと学習が広がった。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7210-005	仁田川を守ろう	長崎県対馬市立仁田小学校 荒木 建 (申請者 畑島 英史)

主な実施箇所 仁田川水系飼所川

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。



助成事業の主な実施箇所

※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
(縮尺は1/50万~1/100万程度)